

平成22年度

湯梨浜町教育行政の点検及び評価

平成23年6月

湯梨浜町教育委員会

目 次

はじめに	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
平成22年度湯梨浜町教育委員会の主要施策	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
教育委員会議及び教育委員の活動	・・・・・・・・・・・・・・・・	39

はじめに

教育委員会の事務の点検・評価制度の導入について

湯梨浜町教育委員会は、まちづくりのテーマである『げんき・いきいき・かがやきのまち』づくりを目指して、人格の完成という普遍的な教育目標と「21世紀、夢がふくらみ一人ひとりが輝くまちづくり」の実現に向けて、住民を主役とした生涯学習の推進と学校教育の充実の向上に努めているところです。

さて、平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正（平成20年4月1日施行）されました。

この改正では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、教育委員会が所掌する事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することが義務付けられました。

湯梨浜町教育委員会は改正の趣旨に即し、平成22年度の事務事業について「教育委員会事務の自己点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

(参考) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(平成19年6月27日一部改正)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成22年度湯梨浜町教育委員会の主要施策

湯梨浜町教育委員会では、別紙の組織に基づき多様な事業を展開しておりますが、自己点検・評価の対象事業は、平成22年度の教育委員会の権限に属する事務のうち、主要な事業を抽出し、担当課(教育総務課、生涯学習・人権推進課)で、事業のねらい、概要、取組状況、成果、課題等について主要事業シートを作成し、事務の管理・執行状況について自己点検・評価を行いました。

この主要施策の点検・評価では、重要な教育課題である学力向上対策、不登校の問題、中学校のあり方、家庭教育の充実及び人権教育の推進などへの対応と、町民に説明責任を果たす必要がある予算執行を伴う施策を中心に、次に掲げる主要な26項目を取り上げ、施策レベルでの点検・評価を行い、今後に向けた課題についても検討を行いました。

【自己点検・評価の流れ】

- ① 毎年教育委員会としての重点施策を策定 (毎年3月まで)
- ↓
- ② 事務局(教育総務課、生涯学習・人権推進課)による自己評価
- ↓
- ③ ②の自己評価を教育委員会に諮り、意見を伺う
- ↓
- ④ 教育委員会において、議会に報告する報告書を提出し承認を得る
- ↓
- ⑤ 報告書を町議会に提出し、報告する (毎年6月定例町議会)
- ↓
- ⑥ ホームページ等で町民に公表する

平成22年度教育委員会点検・評価の主要事業一覧

1. とっとり学力向上支援プロジェクトの取組み
2. 少人数学級
3. 外国青年招致事業
4. 鳥取県版小学校外国語活動拠点校推進事業
5. 人間性・社会性を基盤にした授業研究支援事業
6. 特色ある学校づくり補助金
7. 運動部活動推進事業
8. 児童生徒支援職員配置事業
9. 学力向上委員会の設置、町学校教育研究会との協同による学校教育充実の取組み
10. 湯梨浜町教育を考える会
11. 計画訪問・学校公開の充実
12. 不登校対策
13. 学校評価の充実
14. 中学校のあり方検討委員会
15. 青少年育成町民会議事業
16. 通学合宿事業
17. 文化財保護啓発事業
18. 中央公民館各種事業
19. 公民館のあり方（公民館運営審議会）
20. 図書館事業
21. 東郷運動公園指定管理事業
22. 湯梨浜町体育指導委員連絡協議会事業
23. 湯梨浜町体育協会事業
24. 文化会館・児童館事業
25. 人権フォーラム、同和教育推進大会、部落問題懇談会
26. 部落座談会の取組み（地区座談会）

※平成22年度の教育委員会の権限に属する事務のうち、主要な事業を抽出し、担当課(教育総務課、生涯学習・人権推進課)ごとに、自己評価を実施。

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 1. とっとり学力向上支援プロジェクトの取組み

担当課 教育総務課

事業のねらい	授業改善や保護者啓発等を通して、より望ましい生活や基礎的な学力向上を図り、児童生徒が学習へ集中したり、家庭学習の習慣化をめざす。		
事業の概要	(1)授業研究会の実施(授業改善)(年間5回) (2)学力向上サマースクールの実施(3校で実施) (3)外部講師による特別授業の実施(3回) (4)教育講演会の実施(1回) (5)ペアレントトレーニングの実施(4回) (6)ティーチャートレーニング研修報告会の実施(1回)		
取組状況	(1)授業研究会(授業改善) 6月21日(月)、22日(火)国語(会場:泊小)／8月30日(月)国語(会場:東郷小)／9月22日(火)言語活動(会場:北溟中)／10月28日(木)協同学習(会場:東郷中)／11月12日(金)国語(会場:泊小) (2)学力向上サマースクール(3校で実施) 7月26日(月)～30日(金)羽合小3日間／7月30日(金)～8月18日(水)北溟中8日間／7月26日(月)～8月27日(金)東郷中12日間 (3)外部講師による特別授業(3回)(会場:東郷小) 9月13日(月)、11月29日(月)、1月17日(月) (4)教育講演会(1回) 11月11日(木)参加者約350人 (5)ペアレントトレーニング(4回) ・12月16日(木)、1月19日(木)、3月8日(火)、3月16日(水) (6)ティーチャートレーニング ・養成講座派遣(3名 奈良教育大)8月9日(月)～10日(火) ・ティーチャートレーニング研修報告会 10月18日(月)		
予算額	1,287,000円	決算額	1,272,620円
自己評価	成果	授業研究会や特別授業の実施により、授業改善が図られつつある。また、教育講演会やペアレントトレーニングの取組みにより、子育てや家庭教育について保幼小中の保護者を幅広く啓発していくことができた。また、サマースクール実施校では学習支援をし、夏季休業中の児童生徒への学習の習慣化の意識付けをすることができた。	
	課題	・学力向上には、家庭の協力も必要である。 ・教師の更なる資質向上を図りたい。	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 2. 少人数学級

担当課 教育総務課

事業のねらい	小中学校の児童生徒の実態に鑑み、児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導を充実させることにより、各学校生活への適応の円滑化、基礎学力の定着化のため、学級編制の少人数化を図る。		
事業の概要	<p>【県 1/2 負担】小学校 1・2 年生では 30 人、中学校 1 年生では 33 人以内で学級編制を実施することが可能な教員数を該当校に配置する(加配)。</p> <p>【町全額負担】小学校 3～6 年生では 33 人、中学校 2・3 年生では 35 人以内で学級編制を実施することが可能な教員数を該当校に配置する。</p>		
取組状況	<p>少人数学級の実施</p> <p>【県 1/2 負担】羽合小 1 年、泊小 1 年 (計 2 学級)</p> <p>【町全額負担】</p> <p>羽合小 4 年、泊小 3・5 年、東郷小 5 年、北溟中 2 年 (計 5 学級)</p>		
予算額	小学校 23,960,000 円 中学校 4,990,000 円	決算額	小学校 23,960,000 円 中学校 4,990,000 円
自己評価	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・小学 1 年生において、保育所・幼稚園からの環境の変化からスムーズに学校生活に適応させ、基本的な生活習慣の定着を図ることができた。 ・生活の中で忘れ物が多い子、ルールが守れない子、友だちとの関係づくりがうまくいかない子がいるが、人数が少ないために、子どもたちと十分に時間を取って話すことができ、保護者との話し合いを深めることができた。 	
	課題	教師の授業研究・教材研究を更に充実させたい。	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 3. 外国青年招致事業

担当課 教育総務課

事業のねらい	<p>本事業は、主に中学校における外国語授業の補助、外国語会話学習の補助、幼稚園・保育所・小学校における国際理解教育の補助等を行うことにより、外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を図り、国際化の促進に資することを目標とする。</p>		
事業の概要	<p>「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」による外国語指導助手（ALT）を東郷中学校に1名、北溟中学校には業者委託により1名を配置しそれぞれ校区の小学校や幼稚園、保育所でも指導を行う。</p>		
取組状況	<p><北溟中校区></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校 11学級×週1時間＝11時間 ・羽合小学校 5・6年生6学級×週1時間＝6時間 ・泊小学校 5・6年生3学級×週1時間＝3時間 <p><東郷中校区></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校 6学級×週2時間＝12時間 ・東郷小学校 5・6年生4学級×週1時間＝4時間 ・保育所・幼稚園での国際理解活動への協力（4保幼とも各月1回） <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町英会話教室への協力（15回実施） 		
予算額	9,283,000円	決算額	8,823,190円
自己評価	成果	<p>1 中学校では、授業・外国語教材作成補助・外国語能力コンテスト等への指導を行い、ネイティブ・イングリッシュの発音を聞く機会を確保し、熟練したALTにより外国語教育の充実を図ることができた。</p> <p>2 幼稚園・保育所・小学校・地域では、外国語会話学習の補助等における国際理解教育への協力により、地域レベルの国際交流の進展を図り、異文化理解を増進することができた。</p> <p>3 北溟中学校のALTについては、委託業者が小中、幼保と連絡調整をスムーズに実施。突然のALTの体調不良に対しても、年度途中の交代を迅速に行い、質の高いALT配置を行った。</p>	
	課題	<p>平成24年度の交代を見通した体制整備</p>	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 4. 鳥取県版小学校外国語活動拠点校推進事業 担当課 教育総務課

事業のねらい	平成 23 年度から各小学校において外国語活動が完全実施になる。小学校外国語活動の指導方法等を確立するため、地域の学校のモデルとなる拠点校を指定し、学級担任の教員または外国語活動を担当する教員が中心となる指導體制や学級担任等を補助するための体制の在り方、外国語指導助手（A L T）や地域人材の効果的な活用を含めた実践的な取り組みを推進することにより、小学校の外国語活動の水準向上を図る。		
事業の概要	湯梨浜町では、泊小学校を小学校外国語活動の拠点校とし、指導體制や指導方法の実践的研修を行った。授業研究会等は町内の小中学校の職員も参加して、泊小学校の実践的な取り組みを研修する場を設け、指導力向上を図る。		
取組状況	<p>1 教員の指導力向上のための取組み</p> <p>○講師招聘による外国語活動授業研究会</p> <p>9 月・小原教諭、竹本教諭、A L T 公開学習（第 6 学年）</p> <p>・昭和女子大学付属小学校 トムマーナー氏の師範授業、講演</p> <p>11 月・綱本教諭、野口講師、竹本教諭公開学習（第 5 学年）</p> <p>・佐賀県教育センター情報課 宗誠氏の師範授業、講演</p> <p>○中核教員研修会への参加、外国語活動推進フォーラムへの参加</p> <p>2 効果的な指導方法の工夫改善の取組み</p> <p>○A L T 主導の T T 学習の実施（年間） ○教材開発（年間）</p> <p>3 児童の興味・関心等学習状況の変容の把握と活用</p>		
予算額	451,000 円	決算額	448,500 円
自己評価	成果	<p>◎講師の指導により、小学校外国語活動で育成する力や授業構成について具体的な研修ができた。</p> <p>◎拠点校の外国語活動の授業を受けている 5,6 年生の向上が見られた。アンケート結果によると「英語活動は楽しいですか」という項目に対してほとんどの児童が肯定的に回答していた。コミュニケーションの基礎である「聞く」ことを重点に取り組み、ALT や話し手の思いや願いを受けとめようとする意欲が高まってきている。</p> <p>◎公開学習への参加呼びかけにより、町内教職員の参加が増えた。授業内容を各校へ持ち帰っての研修成果が見られてきた。</p>	
	課題	今後も A L T と連携しながら学級担任が外国語活動の授業を主体的に指導できる力を養成する必要がある。	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 5. 人間性・社会性を基盤にした授業研究支援事業

担当課 教育総務課

事業のねらい	「思考力・表現力を育てる」ために、児童生徒の豊かな人間性・社会性を育みながら、学び合い、高め合いのある授業を創造する。		
事業の概要	中部教育局事業のモデル校として、東郷中学校区（東郷小学校、東郷中学校）においてSST（ソーシャルスキルトレーニング）を取り入れたカリキュラム作成や授業研究を推進する。		
取組状況	◎SSTを取り入れた年間計画の作成、計画に基づいた授業実践 ◎推進委員会、実行委員会への参加（該当校、6月他） ◎模擬授業の公開学習・研究授業 6月14日（月）東郷小 模擬授業者：金子周平先生（鳥大講師） 6月29日（火）東郷中 " " 10月12日（火）東郷小 授業者：井上美也子教諭 11月22日（月）東郷中 授業者：知久馬和紀・河田正彦教諭		
予 算 額		決 算 額	
自 己 評 価	成 果	◎年間計画作成と実践により、職員の校内指導体制が整ってきた。 ◎実践校（モデル校）として公開学習などの取組みを発信することができた。	
	課 題	SSTの授業で育んだ児童生徒の関わり合う力の高まりを、各教科の授業で活かし、学力向上につなげること。	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 6. 特色ある学校づくり補助金

担当課 教育総務課

事業のねらい	小中各学校がそれぞれの教育目標に基づき、地域連携や学校課題に対応した特色ある取組みを行うための支援を行う。		
事業の概要	小学校では主に総合的な学習において、中学校ではキャリア教育および地域交流の一環として、特色ある学習活動を実施する。		
取組状況	<p>【東郷小学校】 環境と人権をテーマとして、サケプロジェクト、東郷池に関するエコ学習、梨作り、人権劇、朝読書等を実施した。</p> <p>【羽合小学校】 教育目標の実現に沿った取組みとして、特別支援学級児童との交流活動、ゲストティーチャーによる地域文化学習、朝読書や栽培など環境学習、金管サークル活動を実施した。</p> <p>【泊小学校】 児童の体験的諸活動を重視し、総合学習・外国語活動・国際理解教育・人権教育及び梨や野菜の栽培、ヤギの飼育、ワカメ栽培等の勤労生産活動体験、金管バンド、読書活動、泊貝殻節の行事参加などに取り組んだ。</p> <p>【東郷中学校】 地域における職業体験活動や社会人講師を通じたキャリア教育、龍踊りなどの郷土芸能の伝承、沖縄での文化交流等を実施した。</p> <p>【北浜中学校】 地域における職業体験活動や社会人講師を通じたキャリア教育、茶道体験により伝統文化の理解を深めた。</p>		
予算額	小学校 1,200,000 円 中学校 500,000 円	決算額	小学校 1,175,162 円 中学校 474,677 円
自己評価	成果	<p>各校が教育目標や地域特性、地域課題に応じた独自の活動や学習を継続展開することができた。地域資源の活用、地域人材との交流、発達課題に応じた学習等については、定着化することにより、対象学年への期待を育んだり活動の準備工夫を行うことが可能となり効果的に事業展開を行っている。</p> <p>小学校では、主に環境・人権・読書習慣などのテーマを地域との繋がりの中で学び、学習意欲の向上や地域の誇りを喚起。</p> <p>中学校では、卒業後の進路や、自分を見つめ「生きる力」を育むキャリア教育および地域や日本の伝統文化の継承者としての学習を深めた。</p>	
	課題	各校それぞれの課題・教育目標に基づいた特色ある取組みを更に推進する必要がある。	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 7. 運動部活動推進事業

担当課 教育総務課

事業のねらい	中学校の運動部活動の活性化、専門的な指導者を確保するため、地域の有能なスポーツ指導者の活用を推進することで、運動部活動と地域社会の連携および生徒のニーズに応える。		
事業の概要	地域の外部指導者に中学生の部活動指導の指導を依頼し、運動部活動に対する専門的知識・技能を修得させる。 鳥取県委託事業として県と契約し、地域の外部指導者に活動費を補助する。		
取組状況	東郷中学校バレーボール部に1名委嘱 4月～1月 延べ25回、78時間指導を受けた。		
予算額	200,000円	決算額	101,600円
自己評価	成果	外部指導者の指導者により専門的知識や技能を身につけることができた。生徒のモチベーションも高まり、更なる飛躍が期待される。	
	課題	学校ニーズにあった地域人材の発掘・確保	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 8. 児童生徒支援職員配置事業

担当課 教育総務課

事業のねらい	①特別な配慮が必要な特別支援学級児童生徒の個別支援および通常学級で病気や発達障がいのある児童生徒の個別支援を行う。 ②外国から帰化した児童生徒の日本語教育支援を行う。		
事業の概要	校長や特別支援学級担任の指示を受けながら、以下の児童生徒の支援を行う。 ① 学習支援（適切なサポート） ② 児童がパニックを起こしたり、教室を飛び出すなど緊急時の対応 ③ 必要に応じて、個別の記録 ④ その他特別支援担当教諭及び学級担任の業務の補助		
取組状況	(羽合小) 3名 [特別支援学級] (泊小) 1名 [特別支援学級] (東郷小) 2名 [通常学級1・日本語教育支援1] (東郷中) 1名 [通常学級(病弱)]		
予算額	11,298,300円	決算額	11,298,300円
自己評価	成果	1 特別支援学級 特別な配慮が必要な知的・情緒の特別支援学級で支援を行い、各学年にまたがって児童が在籍しているため、特に交流学級での児童支援や安全確保のために配置は効果的であった。 2 通常学級 LD（学習障がい）・ADHD（注意欠陥／多動性障がい）等、学習につまずきのある子ども、落ち着きのない子ども、注意や集中が難しい子ども、病弱の子どもに対して個別の支援を行い、児童生徒の学習理解はもちろん、授業も円滑に進められる支援となっている。 3 日本語教育支援 町内に来日して5年目の小学生がおり、特に国語・社会科等の授業の支援と日本の慣習等の指導や保護者対応を行った。すべての教科において落ち着いて取り組むことができるようになり、日本の伝統文化についても理解を深め、友だちとの人間関係も円滑になってきた。	
	課題	多様化する発達障がいの子ども達に適切に対応するための担任との連携、支援や補助の具体的な役割等について、研修の機会を設ける必要がある。	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 9. 学力向上委員会の設置、町学校教育研究会との協同による学校教育充実の
取組み 担当課 教育総務課

事業のねらい	町の学力向上事業や各学校の研究推進体制を充実させ、町内小中学校の児童生徒の学ぶ意欲や基礎学力向上をめざす学力向上委員会を設置し、また、町学校教育研究会との連携をすることによって活動の充実をめざす。		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上委員会の組織作りをする (教育長、各小中学校研究主任、町指導主事) ・学力向上委員会の開催(年間3回)する ・町学校教育研究会との事業連携を取り組む 		
取組状況	<p>(学力向上委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○6月7日(月) 第1回学力向上委員会 ・平成22年度町学力向上事業の説明 ・各学校の学力向上の取組み(情報交換) ・研修「全国学力・学習状況調査の活用について」 ○8月19日(木) 第2回学力向上委員会 ・全国学力・学習状況調査問題を活用した研修会について ・授業研究会の進め方について ・1学期の成果と課題、2学期の取組みについて ○2月3日(木) 第3回学力向上委員会 ・平成23年度町学力向上事業の説明 ・全国学力・学習状況調査問題を活用について ・平成23年度の学力向上、研究推進について (町学校教育研究会との連携) ○8月2日(月) 町学校教育研究会養護教諭部会 ・子宮頸がん予防ワクチン接種について 		
予 算 額		決 算 額	
自 己 評 価	成 果	各学校で学力向上や校内研究推進の中核となる研究主任に湯梨浜町学力向上事業、各学校の取組みについて共通理解を図り、効果的な運営ができた。学力面での小中学校連携の推進を図ることができた。	
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前からの一貫した「学習・生活のルール」づくりを共通理解・実践する必要がある。 ・町学校教育研究会とは一専門部との関わりに終わったので、町学校教育研究会の活動内容に応じた連携を図っていくこと。 	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 10. 湯梨浜町教育を考える会

担当課 教育総務課

事業のねらい	小学校区ごとに学校、保護者、住民が子どもの学力などについて現状を知り、向上を図るための意見交換の場とするのがねらいである。教育行政の立場から、各学校現場からの情報提供や協力要請をし、地域の子どもたちを地域で育てるための話し合いや情報の共有化を行い、具体的な活動や連携が推進できるようにする。		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA連合会での本事業への参加要請と協力要請をする ・開催チラシを配布する ・小学校区別の考える会を開催する 		
取組状況	①東郷小学校区6月29日(火)午後7時～(東郷小学校) 参加者48名(地域住民8名、PTA会員20名、教職員20名) ②泊小学校区6月30日(水)午後7時～(泊分館) 参加者36名(地域住民5名、PTA会員13名、教職員18名) ③羽合小学校区7月2日(金)午後7時～(羽合小学校) 参加者59名(地域住民5名、PTA会員39名、教職員15名) (内容の概要) <ul style="list-style-type: none"> ・学力の実態と向上にむけて ・家庭学習の習慣化にむけて ・基本的な生活習慣の定着にむけて (進め方) <ul style="list-style-type: none"> ・説明・問題提起・提案(教育長、各小中学校長によるプレゼン) ・提案を受けてのグループ協議 		
予算額		決算額	
自己評価	成果	教育長や小中学校長からの湯梨浜町の子どもたちの学力や生活に関する問題提起や協力要請を受けて参加者によるグループ協議が実施できた。PTA会員だけでなく住民の方の参加もあり、学校と情報を共有することで課題解決のための土壌づくりが進んだ。	
	課題	広報活動が不十分だったため保護者・住民の参加者が少なく、協議を深めることに課題があった。今後はねらい・協議内容をさらに明確にし、広報活動の充実を図りたい。	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 11. 計画訪問・学校公開の充実

担当課 教育総務課

事業のねらい	①計画訪問:各学校の教育活動の現状や学校経営上の成果と課題についてその実情を把握し、教育課程実施上の諸問題についての理解を深め、さらなる公教育の充実に資する。 ②学校公開:地域住民に教育活動を公開し、学校教育の充実を図る。		
事業の概要	①計画訪問 ・授業参観、校長説明(春:学校経営意見交換会、秋:学校評価中間評価)、諸帳簿点検をする ・教育委員による評価(授業参観の5視点)をする ②学校公開 ・春は町内一斉に2日間、秋は中学校区ごとに連続する2日間で実施する ・公開会場 幼稚園・保育所(園)・小中学校・中高一貫校		
取組状況	①計画訪問(A訪問:意見交換会有り、B訪問:通常の訪問) ・6月3日(木)松崎幼、羽合小A ・6月11日(金)羽合幼、東郷小B ・6月25日(金)東郷中B、泊小A ・7月1日(木)北溟中A ・11月2日(火)松崎幼 ・11月9日(火)羽合幼、北溟中B ・11月18日(木)羽合小B、東郷小A ・11月25日(木)泊小B、東郷中A ②学校公開 (春)6月16日(水)～17日(木)終日 (秋)北溟中学校区10月20日(水)・21日(木)終日 東郷中学校区10月25日(月)・26日(火)終日		
予算額		決算額	
自己評価	成果	①計画訪問は年間2回実施し、今年度はA・B訪問形式を取り入れた。(A訪問では教職員との意見交換会の時間を設けた)教育委員に各学校の教育課題へ取組等を把握していただき、学校へ指導助言していただくことができた。 ②本年度は、秋の2日間の学校公開を各中学校区で開催した。また、公開時間を午前中(半日)から終日へ変更した。午後も参観していただくことができ、教育活動への理解をより深める契機になった。	
	課題	①計画訪問結果・アンケート結果を学校の改善策へ生かすため、教育委員と学校管理職の協議の場をもちたい。 ②学校公開の外部からの参観者数は、学校間で差がある。各校ごとに参観者を増やす工夫が望まれる。	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 12. 不登校対策

担当課 教育総務課

事業のねらい	不登校の現状について町全体で共通認識し、家庭や関係機関と密接に連携しながら、不登校にさせない学校・再登校をめざす学校づくりを図る。		
事業の概要	<p>① 町の重点施策として不登校対策委員会を実施し、研修や事例研究会等を充実させ、小・中学校と連携しながら共通理解・実践を図る。また、教育委員会定例会で毎月の状況を報告し、教育委員会全体で共有を図る。</p> <p>② 中学校に配置しているスクールカウンセラー・教育相談員の活用を図る。</p> <p>③ 児童生徒が家に引きこもることがないようにするため、鳥取県中部子ども支援センターとの連携を強化する。</p>		
取組状況	<p>① 不登校対策委員会 出席者:各小・中学校長、教育相談担当、スクールカウンセラー、教育相談員、教育長、教育総務課長、指導主事</p> <p>第1回 5月10日(月) 中央公民館羽合分館 第2回 7月15日(木) 湯梨浜町役場 第3回 9月6日(月) 〃 第4回 12月6日(月) 〃</p> <p>※第1回では中部子ども支援センター所長を招聘し、センター紹介の他、保護者対応等について助言をいただいた。 ※第4回では羽合小における学校復帰の事例研究を行い研修を深めた。</p> <p>② スクールカウンセラー:週4時間(年140時間)の勤務 教育相談員:午前の勤務時間 週20時間以上 午後の勤務時間 1月あたり40時間</p> <p>③ 中部子ども支援センターへ3名の生徒が入級(北溟中2・東郷中1)</p>		
予算額		決算額	
自己評価	成果	<p>① 不登校対策を町の重点として共通認識し、小中が連携しながら取り組む体制が整ってきた。</p> <p>② スクールカウンセラー・教育相談員とも小学校での活用も浸透してきた。特に教育相談員は家庭訪問等をしながら積極的に生徒や保護者に関わり、不登校対策に欠かせない存在となっている。</p> <p>③ 中部子ども支援センターに通っている3名ともほぼ休まず通級し大きな改善が見られた。中でも中学3年生1名は学習に集中して取り組み、希望校に入学することができた。</p>	
	課題	幼児期から友だち同士のよりよい関係を構築させたい。	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 13. 学校評価の充実

担当課 教育総務課

事業のねらい	<p>①学校の教育活動・学校運営の目標を達成するための具体方策を設定・評価し、教育活動等の改善を図るとともに、学校教育の質的向上に資する。</p> <p>②教職員評価育成制度と連動した学校評価を行うことにより、組織として機能する学校づくりを推進する。</p> <p>③学校評価結果を保護者や地域住民等に説明・公表し、説明責任を果たすとともに、学校、家庭、地域が一体となった開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>④教育委員会が、学校評価の結果に応じて各学校に対する指導・助言や条件整備等の必要な措置を講じることにより教育内容の充実を図る。</p>		
事業の概要	<p>①自己評価の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価表の作成 ・中間評価及び最終評価の実施 ・教職員・児童生徒・保護者に対するアンケート結果の活用 <p>②学校関係者評価の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の結果及び改善方策に対する評価 ・自己評価及びその他の学校運営の改善に対する提言 <p>③説明・公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて保護者説明会、ホームページ、学校だより、地域広報紙等により公表事項について説明・公表 		
取組状況	<p>○湯梨浜町学校評価要領の作成・実施</p> <p>○学校関係者評価委員会の新設・湯梨浜町学校関係者評価委員説明会の実施(9月27日)</p> <p>○中間評価を柱にした秋季計画訪問の実施 (A訪問:意見交換会有り、B訪問:通常の訪問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月2日(火)松崎幼 ・11月9日(火)羽合幼、北浜中B ・11月18日(木)羽合小B、東郷小A ・11月25日(木)泊小B、東郷中A 		
予算額		決算額	
評価	成果	<p>学校評価は平成20年度から実施していたが、要領等もなく各校で取組みに差異があった。町内各園・校が足並みをそろえるためには実施要領を作成し、学校外部からの評価者である学校関係者評価を立ち上げることが有効と考え説明会及び研修会を実施することができた。</p>	
	課題	<p>学校関係者評価委員の評価のあり方、評価方法について、研修の機会を設ける必要を感じた。</p>	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 14. 中学校のあり方検討委員会

担当課 教育総務課

事業のねらい	子どもたちにとって何が一番大切なのかを基本に、教育委員会として将来の中学校のあり方を具体的データを基に結論を出し、その意見書を町長に提出する。
事業の概要	<p>『東郷中学校及び北浜中学校の将来像を統廃合を含めて幅広い観点から検討し教育環境整備を推進する』ため、平成20年に町長の諮問を受け湯梨浜町中学校統廃合検討委員会が立ち上げられた。同委員会から同年12月に『両中学校の耐震化整備を早急に取り組み、中学校の統廃合は町民の醸成を見極め、期間をかけ議論されること』の答申がなされた経過がある。</p> <p>教育委員会としても平成19年には新設統合との結論を出したが、改めて子どもたちにとって大切なものは何かを基本に、生徒数が減少するという現実（ソフト面）及び建物が老朽化しているという現実（ハード面）から、改めて町内中学校のあり方を検証した結果、教育委員会としては『新しい場所に統合するのが望ましい』という結論に達した。そこで再度湯梨浜町中学校統廃合検討委員会を立ち上げ将来の中学校のあるべき姿を検討する。</p>
取組状況	<p>計5回の検討委員会を開催した。</p> <p>【第1回(9/22)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の検討委員会での内容及び教育委員会での取組み（定例会での協議、耐震診断結果等）など経過を説明 ・教育的観点を議論するために改めて検討委員会を設置し、子どもをどう育てていきたいかの議論をしたい旨説明 <p>【第2回(10/26)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湯梨浜町教育の基本理念、両中学校の成果と課題を報告 ・学校教育の4本柱のうち、①基礎基本を重視した確かな学力、②生徒指導の推進（心の教育）について協議 <p>【第3回(12/6)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の4本柱のうち、③心身の健康増進、④特別支援教育の充実について協議 <p>【第4回(1/31)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTAアンケート結果の報告 ・生徒数が増加することで目が行き届かなくなりきめ細やかな指導ができなくなる、保護者の意見を十分に聞いた上で決定してほしい

	などの不安材料について協議 【第5回(3/24)】 ・意見書（中間報告）の集約 ・今後のスケジュールについて確認		
予 算 額	183,000 円	決 算 額	156,000 円
自 己 評 価	成 果	計5回の検討委員会を重ねる中で、委員会として『統合するのが望ましい』との一定の意見の集約（中間報告）ができた。	
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会で話し合われた内容は、随時ホームページや町報を通して情報を発信してはいるが、十分とは言えない点もあり全町民に対しての広報を工夫する必要がある、今後は住民説明会(仮称)を通じてより多くの住民に共通の理解と認識を持っていただく必要がある。 ・またアンケートの中にあった保護者の不安材料について一つ一つ丁寧に説明する必要がある。 	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 15. 青少年育成町民会議事業

担当課 生涯学習・人権推進課

事業のねらい	次代を担う青少年の健全な育成を図るため、広く町民の理解と協力を得ながら、各事業実施機関との連絡調整を行い、その施策を推進することを目的とする。		
事業の概要	研修部会: 青少年の健全育成を推進するための諸研修の実施 育成部会: 「地域の教育力」を育成するための地域事業、親子活動等の推進 環境補導部会: 青少年が健やかに育つための環境整備に関する事業の推進		
取組状況	<p>研修部会 7/8 (木) 会員研修会 (社会を明るくする運動と連携) 中央公民館 10/14 (木) 青少年健全育成町民研修会 中央公民館大講堂 参加者 31 名 講演 鳥取県図書館協会会長 山田晋さん「長い目で育てる青少年」</p> <p>育成部会 8/21 (土) ナイトハイク湯梨浜 燕趙園→桜コミュニティ→出雲山展望台→ハワイ夢広場→めぐみのゆ公園 一般参加者 63 名、体育指導委員 5 名、町女性団体 16 名 6/6 (日) 中部地区少年少女のつどい (湯梨浜町) 参加者 25 名 8 月～9 月 家庭の日絵画作品募集 応募数 2 作品 3/6 (日) 子ども会リーダー研修会 中央公民館 大講堂 参加者 155 名 講師 鳥取県子ども会育成連絡協議会 理事 小田亨さん // 理事 米田紀子さん 演題 「子ども会を楽しむために」 子ども会育成者研修会 中央公民館 第 1・2 会議室 参加者 70 名 講師 鳥取県教育委員会中部教育局 藤井仁志さん 演題 「たのしい子ども会にするために」</p> <p>環境補導部会 青少年補導活動 延べ 22 人参加 7/20(火)水郷祭、7/31(土)とまり夏まつり、7/24(土)はわい温泉まつり 7/1～7/15 社会を明るくする運動立ち番 4/20～4/23 第 1 回高校生マナーアップさわやか運動 9/14～9/17 第 2 回高校生マナーアップさわやか運動</p>		
予 算 額	300,000 円	決 算 額	172,685 円
自 己 評 価	成 果	各課題に対する取組みを行い、親子の交流の重要性、地域の環境浄化の意義、地域における子ども会活動の重要性等を啓発することができた。	
	課 題	委員は基本的に「あて職」で組織しているが、一つ役を受けると次々といろいろな役があてられ、結果的に個人の負担が大きくなってしまっている。また、本会議の活動に対して熱心な会員とそうでない会員とができてしまっている。また、各行事への参加者数についても減少傾向にある。今後は活動をもっと広く PR し、他の事業との連携を図りながら少しでも多くの人に関わっていただく努力をしていく必要がある。 また、青少年育成町民研修会などを通じて、家庭教育に力を入れていく必要がある。	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 16. 通学合宿事業

担当課 生涯学習・人権推進課

事業のねらい	<p>青少年の家から学校に通学する「通学合宿」をとおして、子ども同士の交流、集団活動の体験や保護者から離れた日常生活の体験活動など、様々な体験や友達との交流の輪を広げることにより子どもたちの自立心や社会性を育成する。</p>		
事業の概要	<p>町内の小学生5・6年生の児童を対象とし、1週間青少年の家で集団生活を行う。社会教育委員、鳥取短期大学、食生活改善推進員にも携わっていただき、掃除、洗濯、炊事など生活全般のサポートをしながら子供達の自主性、社会性を育む。</p>		
取組状況	<p>6/20（日）～6/26（土）（6泊7日）参加者 26名 1日目 開校式、オリエンテーション、掃除、食事の準備など 2日目 掃除、洗濯、食事の準備、買出し、学習など 3日目 掃除、洗濯、食事の準備、買出し、学習、保護者宛のはがき作成など 4日目 掃除、洗濯、食事の準備、買出し、学習など 5日目 掃除、洗濯、食事の準備、買出し、学習など 6日目 掃除、洗濯、食事の準備、買出し、学習など 7日目 掃除、食事の準備、1週間のまとめ、閉講式など</p>		
予算額	476,000円	決算額	391,560円
自己評価	成果	<p>集団活動をとおして仲間同士協力し合うことの大切さ、我慢することなどを学び、自主性・協調性を培うことができた。また、家族と離れて生活することで家族の大切さを改めて感じる事ができた。参加した子どもと保護者からは「参加してよかった」との声が聞けたので、今後も実施していきたい。</p>	
	課題	<p>近年、参加者が減少している傾向がみられる。スポ少や塾など不参加とすることを条件としているためか、特に男子児童の参加者が少ない。実施時期を検討するようにとの声もあるが、年間とおして練習・試合等があり、また、学校行事などの関係もあるため時期を変更することは難しいと思われる。</p> <p>事業の趣旨を保護者へ広く広報して、今後、少しでも参加者が増えるよう改善していく努力が必要である。</p>	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 17. 文化財保護啓発事業

担当課 生涯学習・人権推進課

事業のねらい	ふるさとの文化財に親しむことで、郷土に対する理解と愛着を育成する。また、住民の関心一步高めるための研修機会を設ける。		
事業の概要	文化財見学会(ふるさと再発見事業、文化財見学事業)の実施や、歴史講演会の開催を通じて、町民に文化財に対する学びの場を提供する。また、町内の指定文化財等を紹介したパンフレットを発行し、広域的な取組みとしては、鳥取・島根両県の教育委員会と史跡を有する市町村で構成する「山陰史跡整備ネットワーク会議」に参加し、研修会や情報交換、また両県共同で実施する文化財見学会等の計画の作成等を行う。		
取組状況	<p>①ふるさと再発見 湯梨浜学講座 7/6 中世の泊歴史探訪～泊浦と河口城～(参加者 23 名) 11/24 藤津を訪ねる(参加者 20 名)</p> <p>②湯梨浜町文化財見学会 10/22 安来地方の文化を訪ねる(参加者 36 名) 11/4 鳥取県立博物館企画展「海と生きる」見学会(参加者 14 名)</p> <p>③湯梨浜町歴史講演会 3/20 「淀屋夢ん中 一大坂・橋津・倉吉」 講師:淀屋牧田家再生プロジェクト代表 田村幹夫氏 (参加者26人)</p> <p>④文化財パンフレット「東郷湖周辺の文化財」 2,000 部製作</p> <p>⑤第 23 回山陰史跡整備ネットワーク会議 11/21,22 会場:島根県鹿足郡津和野町(町文化財担当者1名参加)</p>		
予算額	476,000 円	決算額	293,180 円
自己評価	成果	<ul style="list-style-type: none"> 各文化財見学会、歴史講演会とも実施後のアンケート結果では参加者の満足度が非常に高く、内容とともに有意義なものとなった。 長らく品不足かつ内容の一部改訂が必要であった文化財パンフレットが発行でき、今後、町の文化財啓発活動の有効な資料として活用が期待出来る。 	
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 文化財見学会を平日に実施しているため、参加される年代層が高齢者中心となっている傾向があり、かつ参加者も一部固定化されてしまっている。より多くの年代の方々に参加をいただくためには、日曜日、祝日の開催も考慮し、また見学内容についても、努めて専門的な傾向に偏らないよう計画をする必要がある。 同時に県内外への啓発については、今後、山陰史跡整備ネットワーク等を通じて、各自治体の情報を共有し、発信していきたい。 ゆりはま塾等他課の事業との連携による文化財解説ボランティアの育成を図ることが必要である。 	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 18. 中央公民館各種事業

担当課 生涯学習・人権推進課（中央公民館）

事業のねらい	生涯学習の拠点施設として、町民を対象に各種の講座、教室を開催するとともに情報提供を行い、各種のサークル活動の支援をとおして利用者の方に気軽に楽しく親しまれる公民館を目指す。また、町民が自由に、主体的に取り組む学習活動への支援を行う。
事業の概要	通常の公民館各種事業を展開する中で、特に本年は始動し始めた「さくら工芸品工房を活用、連携した事業への取組みを模索した。地区公民館事業としても陶芸教室や、草木染教室を実施されたところもあり、今後の趣味、サークル活動へとつながっていくよう努める。
取組状況	<p>主な公民館各種事業の取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湯梨浜文化大学（全体教養コース 10 回、趣味コース 17 コース各 7 回） 全体教養コース延べ 998 人 趣味コース延べ 1,722 人 ・住民作品展（10 / 30～11 / 3 各館にて） 出展作品数 約 1,700 点 来館者数 約 2,000 人 ・湯梨浜芸能大会（11 / 21 ハワイアロハホール） 出演団体数 39 団体 出演者数 245 人 観客数 約 350 人 ・パソコン教室（年間 3 館にて 教室開催回数計 40 回） 初心者コース、ワード、エクセル初級・応用編、年賀状、パワーポイント 延べ参加者 442 人 ・人形劇公演（中央公民館・・・ココン 羽合分館・・・クラルテ、泊分館・・・京芸） 延べ参加者 255 人 ・湯梨浜囲碁・将棋大会（8 / 22 羽合分館） 参加者数 36 人（大人 34 人 子ども 2 人） ・泊分館各種事業（スポレク祭、あったか祭、交流 GG 大会、成人教育） 延べ参加者 353 人 ・公民館ロビー展の開催 12 回 ・その他・・・薬膳料理講習、佐治谷ばなしを楽しもう、和風づくり教室 スポーツ無料体験教室、パン・ケーキづくり教室 など <p>★ さくら工芸品工房活用、連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の草木染講座 3 回（びわの葉の草木染、梨の枝の草木染など） ・クラシックタベの集い（ヴァイオリンコンサート） ・さくら咲け箏コンサート <p>★ 交付金等の整備事業【住民生活に光をそそぐ交付金】</p>

		中央公民館展示用パネル整備事業 パネル 50 枚他一式整備 1,350 千円 ※予算額、決算額とは別枠	
予 算 額		2,053,000 円	決 算 額 1,937,363 円
自 己 評 価	成 果	慣例の事業枠にとらわれることなく新しい試みとして、さくら工芸品工房の活用、連携に眼を向けたことにより、地区公民館の事業として草木染教室、陶芸教室などの事業をとりいれられたところもあり、さらに工房で創作活動をしておられる工芸作家の方の作品が住民作品展に友情出展していただき、工房と地域が一体となった今後の趣味、サークル活動に方向性が見出せた。	
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主催事業や各種サークル活動を有機的に結びつけ、より多くの住民に親しまれる公民館づくりを推進するため、発表機会の拡充や文化団体連絡協議会の活動強化が必要である。 ・ 現在中央公民館 3 館で開催している住民作品展について <ul style="list-style-type: none"> ① 年々出展作品数が少なくなっている。 ② 館によっては展示用パネルが非常に老朽化している。 <p>以上のことを受け、今回展示用パネルを交付金事業で整備したこともあり、一箇所での開催も含めて展示方法等も工夫するなど検討を要する。</p>	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 19. 公民館のあり方検討（公民館運営審議会）

担当課 生涯学習・人権推進課（中央公民館）

事業のねらい	合併後の地区公民館の維持管理費問題に端を発した懸案事項だけではなく、今後の湯梨浜町の公民館体制のあり方も含めて検討し、その方向性を打ち出す。		
事業の概要	中央公民館、地区公民館も含めて、湯梨浜町の公民館体制のあり方について審議会に諮問し、審議会としての答申をいただく。		
取組状況	<p>【公民館運営審議会の審議経過等】</p> <p>今後の湯梨浜町の公民館体制のあり方について真剣に議論を要するとの判断のもと、社会教育委員と兼務であった公民館運営審議会委員を独自に委嘱して審議をしていただきことに決定（H22.8）</p> <p>①新公民館運営審議会委員委嘱（H22.8.23 委員9名）</p> <p>②第1回公民館運営審議会（H22.9.7）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長、副委員長の互選 ・湯梨浜町の公民館体制の現状と課題について <p>③公民館運営審議会への諮問（H22.9.22）</p> <p>④第2回公民館運営審議会（H22.10.15）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の公民館体制のあり方について（中央公民館、分館及び地区公民館、泊地域の取り扱い） ・今後の公民館活動のあり方について <p>⑤第3回公民館運営審議会（H22.11.24）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湯梨浜町の公民館体制のあり方についての諮問に対する答申について <p>⑥第4回公民館運営審議会（H22.12.24）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湯梨浜町の公民館体制のあり方についての諮問に対する答申について <p>⑦公民館運営審議会から教育委員会への答申（H22.12.27）</p> <ul style="list-style-type: none"> ※答申内容 4項目 <p>⑧定例教育委員会への答申の内容報告、協議（H23.1.18）</p> <p>⑨答申内容の検討及び答申内容(4項目)の図式化資料作成</p> <p>⑩答申内容(4項目)図式化資料提示（公民館連絡協議会等へ）</p>		
予算額	102,000円	決算額	76,800円
成果	公民館体制のあり方についての諮問に対する公民館運営審議会		

自 己		の答申がなされたことにより、一步前に踏み出すことかできた。今後ともまだまだ課題があるものの、答申内容を真摯に受け止め、さらに具体的な作業を進める。
評 価	課 題	<p>公民館運営審議会答申を受けて、その答申内容との整合性を図りながら、平成 23 年度のなるべく早い時期に結論を出し、住民のみなさんや公民館関係者の理解を得て、新しい湯梨浜町の生涯学習、社会教育の体制を構築する必要がある。</p> <p>地区公民館の維持管理費負担に関する不公平感解消のため、各地区での説明会等を早急に実施する必要がある。</p>

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 20. 図書館事業

担当課 生涯学習・人権推進課

事業のねらい	町民に図書その他の資料を提供することにより、町民の文化と教養の向上を支援する。また、利用者のプライバシーに配慮しながら、町民の知る権利を保障することにより、利用者に信頼され親しまれる図書館を目指す。
事業の概要	町立図書館・羽合図書室・しおさいプラザとまりの3施設がネットワークを結び、図書館資料の収集と貸出及びレファレンスサービス(調査相談)等の充実を図る。
取組状況	<p>図書購入費 5,000 千円</p> <p>利用等実績</p> <p>【町立図書館】</p> <p>個人貸出冊数 69,628 冊 (H21 年度:68,790 冊)</p> <p>延べ貸出利用者数 18,436 人 (H21 年度:19,572 人)</p> <p>予約・リクエスト件数 11,171 件 (H21 年度:9,387 件)</p> <p>22 年度末の蔵書数 68,355 冊 (H22 年度購入冊数 2,522 冊)</p> <p>【羽合図書室】</p> <p>個人貸出冊数 41,353 冊 (H21 年度:32,416 冊)</p> <p>延べ貸出利用者数 12,794 人 (H21 年度:10,219 人)</p> <p>予約・リクエスト件数 9,095 件 (H21 年度:5,384 件)</p> <p>22 年度末の蔵書数 13,985 冊 (H22 年度購入冊数 514 冊)</p> <p>【しおさいプラザとまり】</p> <p>個人貸出冊数 26,359 冊 (H21 年度:18,009 冊)</p> <p>延べ貸出利用者数 8,031 人 (H21 年度:5,778 人)</p> <p>予約・リクエスト件数 2,248 件 (H21 年度:743 件)</p> <p>22 年度末の蔵書数 22,396 冊 (H22 年度購入冊数 532 冊)</p> <p>各種行事の実施</p> <p>クリスマスイベント (12/11)</p> <p>リサイクル市・リコーダーコンサート・おはなし会・工作</p> <p>おはなし会 5 回</p> <p>作品展 3 回</p> <p>交付金事業等の実施</p> <p>【住民生活に光をそそぐ交付金 17,388 千円】</p> <p>町立図書館整備事業</p> <p>移動書庫・各種物品の購入、しおさいプラザとまりの空調設</p>

	<p>備修繕工事他。</p> <p>図書館司書職員雇用事業</p> <p>図書館司書職員を雇用し学校図書室の支援と併せ図書教育の充実を図るための基金積立。</p> <p>【読み聞かせスキルアップ事業 581 千円】</p> <p>大型絵本・紙芝居の購入、読み聞かせ講習会の実施</p> <p>【きめ細かな臨時交付金 1,176 千円】</p> <p>図書館変圧器修繕工事</p>		
予 算 額	55,591,000 円	決 算 額	43,408,430 円 (翌年度繰越額) 11,130 千円
自 己 評 価	成 果	<p>図書の購入とその広報に努めた結果、貸出冊数、延べ貸出利用者数とも対前年比で増となった。特に予約・リクエスト件数については、羽合図書室・しおさいプラザとまりが大幅に増加している。</p> <p>これは、蔵書数の多い図書館に行かずに、近くの図書室で、読みたい本を予約・リクエストするという利用方法が定着して来ているものと思われる。</p> <p>各種行事を実施したことにより、今まで図書館に来られたことのない方々に図書館を認識していただくことが出来た。</p> <p>交付金等による事業の実施により図書設備、図書資料等の充実を図ることが出来た。</p>	
	課 題	<p>住民生活に光をそそぐ交付金により、図書資料をはじめ施設設備も充実することから、一人でも多くの住民に利用していただけるよう広報活動はもちろん、知の拠点づくりとして、リクエストやレファレンスサービスの一層の充実を図ることが必要である。</p>	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 21. 東郷運動公園指定管理事業

担当課 生涯学習・人権推進課

事業のねらい	スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実を図り、町民の健全な心身の育成を目指すとともに、町外、県外の利用者に本町施設の魅力をアピールする。また、指定管理により、柔軟で迅速な対応を図り、利用者の利便性の向上に資する。		
事業の概要	民間業者の指定管理により、独自の視点から施設の魅力を最大限に活用し、利用者の増加を図る。 施設の貸出、維持管理、必要に応じた修繕を行う。		
取組状況	平成22年4月1日から平成25年3月31日まで(株)チュウブによる指定管理。 ※利用状況(22年度・年間延べ人数) 野球場 6,337人(前年比3,207人増) 多目的広場 7,646人(前年比4,638人増) テニスコート 1,549人(前年比320人増) フットサル場 1,286人(前年比556人増) 公園利用・観戦者 約4,300人(前年比約1,300人増) ・多目的広場の人工芝敷設工事 ・野球場内野芝生張替工事		
予算額	9,525,000円	決算額	9,525,000円
自己評価	成果	多目的広場の整備、ガイナーレの練習場、合宿や大会の誘致により利用者数が大幅に増加した。公園利用者・観戦者も含め、利用者が年々増加しているためスポーツ・レクリエーション施設としての認知度が高まっていると思われる。	
	課題	これまでどおり、県内外に施設の魅力をアピールし利用者の増加を目指す。特に利用単価の高い町外の利用者に利用していただくべく観光協会や旅館組合等との連携強化により、県外からの合宿やより多くの大会の誘致を図ることが必要である。 また、施設の経年劣化はまぬがれないため費用対効果の高い修繕、整備を見極め適切な管理を行いたい。	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 22. 湯梨浜町体育指導委員連絡協議会事業

担当課 生涯学習・人権推進課

事業のねらい	町民一人1スポーツを目標とし、それを推進する指導者・リーダーとしての役割を担う。		
事業の概要	委員27人が地域・団体へのスポーツ指導を行う。		
取組状況	<p>●スポーツ教室（通年）</p> <p>地域、団体など合わせて9回のスポーツ教室（ニュースポーツ）を開催し、約300人の参加があった。</p> <p>小学校親子会6回（ペタンク、ドッチビーなど）</p> <p>公民館活動2回（ペタンク、スカットボール、キンボールなど）</p> <p>その他団体1回（食生活改善推進員・ニュースポーツ指導）</p> <p>●第22回記念グラウンド・ゴルフ発祥地大会（6/13・13）</p> <p>潮風の丘とまりで実施。競技運営に対し、2日間延べ19人の委員が参加した。</p> <p>●第6回湯梨浜町ビーチバレーボール大会（7/11）</p> <p>石脇海水浴場で実施。会場設営、運営について11人の委員が参加した。</p> <p>●ナイトハイク（8/21）</p> <p>羽合地域で開催。先導または後尾の指導を行った。参加委員は5人。</p> <p>●定例会（通年）</p> <p>月例で会議を開催し、事業計画について検討した。</p>		
予算額	1,814,000円	決算額	1,809,200円
自己評価	成果	教室開催の回数は減ったものの参加人員は増加しており、ニュースポーツの普及に努めることができた。また、町内開催の体育行事に多数関わることができ、本委員の存在意義をアピールするとともに町民のスポーツへの関心を高める一助となることができた。	
	課題	<p>ニュースポーツ指導の開催依頼数が年10回前後で推移している。今後更に各組織にアピールし、町民への普及に努めたい。各公民館の体育行事は毎年同様の事業（グラウンドゴルフ等）を開催しているようなのでニュースポーツの紹介を検討したい。</p> <p>また、介護予防事業や食生活改善推進員等との連携を図り、より多くの提案を考える必要がある。町内開催の体育行事には引き続き積極的に参加していただいているが、更にその存在や活動を紹介して、地域に根ざした取組みも必要である。</p>	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 23. 湯梨浜町体育協会事業

担当課 生涯学習・人権推進課

事業のねらい	湯梨浜町民の体育愛好の精神を培うとともに、体育の振興と体力技能の向上を図り一致協力、湯梨浜町の発展に貢献することを目的とする。		
事業の概要	<p>①体育運動の宣伝、啓発指導、奨励を図ること。</p> <p>②体育大会、講習会、その他体育運動に関する各種事業の実施及び援助をすること。</p> <p>③各種競技会に代表選手を派遣すること。</p> <p>④体育運動に関する研究調査をすること。</p> <p>⑤社会体育、スポーツ発展のため功績のあった者に対し、別に定める規定に基づき表彰を行うこと。</p> <p>⑥スポーツ少年団の育成に関すること。</p> <p>⑦その他本会目的達成に必要な事業を行うこと。</p>		
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール大会：21チーム ・ナイターリーグ：12チーム ・郡民体育大会 男子総合：3位、女子総合：3位 ・中部駅伝 湯梨浜A：4位、同B：10位 ・駅伝競走大会：44チーム ・グラウンド・ゴルフ大会：285名 ・ゲートボール大会：6チーム バレーボール大会：28チーム ・バスケットボール大会：18チーム 卓球大会：35チーム ・バドミントン大会：35チーム 県民スポレク祭参加 <p>表彰：体育功労1、優秀指導2、成績優秀100、 成績優秀団体16</p> <p>各競技部において各種大会に参加（活動費、参加費一部補助）</p>		
予算額	5,810,000円	決算額	5,805,285円
自己評価	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・町民大会の運営を各競技部に依頼しており、スムーズな大会運営となっている。 ・本町が主会場となった郡民体育大会をはじめ、各種大会に積極的に参加しており好成績を収めている。それにより、表彰対象も多くなっている。 	
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・競技によっては固定化された一部の参加者になりがちである。 	

		<ul style="list-style-type: none">・健康スポーツの実施者の底辺を広げるため『町民1スポーツの日』のような取組みを通じてスポーツの普及を図る必要がある。
--	--	--

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 24. 文化会館・児童館事業

担当課 生涯学習・人権推進課

事業のねらい	文化会館・児童館の連携により、児童の心身健全育成の促進と周辺地域を含むコミュニティセンターとしての機能の充実により、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消、人権の町づくりを推進する。
事業の概要	周辺地域を含めた児童の健全育成及び子育て支援を行いながら、児童福祉の向上を図る。また、周辺地域を含む住民に対して、福祉の向上や人権啓発のための住民交流の拠点となる地域に密着したコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業をはじめ社会福祉等に関する総合的な事業及び人権・同和問題に対する理解を深めるための活動を行い、地域住民の生活の社会的、経済的、文化的改善向上を図るとともに、人権・同和問題に関する啓発を行う。
取組状況	<p>【主な内容】 「解放の力」育成事業講演 1回、スポーツ教室 1回 手作りタイム（浜児童館）13回、 保育懇談会「親子読み聞かせ会」1回、 読み聞かせ教室「お話会」1回、 各種相談業務（延べ261件） 啓発及び広報活動事業（児童館だより各12回） 地域交流事業（料理教室、日曜子供会、生活改善指導、解放文化祭） 貸館業務</p> <p>【施設の利用状況】 年度内会館日数 245日 延べ利用件数 967件 延べ利用人数 15,458人 浜児童館 延べ利用人数3,031人</p> <p>【施設整備】 ・安全で快適な公共施設を提供するため施設等の推進を図った。 浜地区会館・・・外壁修繕、掲示板及び表札の設置（1,108千円） 浜児童館・・・玄関修繕、広場の整地、側溝整備（2,368千円） 文化会館・・・児童遊園地フェンス設置（2,468千円） 田畑児童館・・・多目的ホールの照明増設（299千円）</p> <p>【備品等整備】 ・環境整備を図ることにより、より一層の児童の健全育成及び子育て支援を促進して、児童福祉の向上を図った。 浜児童館・・・バスケットゴール、サッカーゴールネット、ジュニアブロック など（496千円）</p>

		田畑児童館・・・プロジェクター、暗幕、サッカーゴール、床カーペット など (510 千円)
自己評価	成果	同和問題をはじめあらゆる人権課題の解決を図るための拠点施設であり、周辺地域を含めた各種事業の推進の場となっている。毎年、部落解放文化祭、小学校・中学校学習会、小学校・中学校の現地研修会、保育、小学校・中学校の地区懇談会の場となっている。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育と家庭教育の連携の強化を図る必要がある。 ・文化会館の活動を広く広報するとともに、地域住民の各種講演会への参加人数を増やすための方策を検討する必要がある。 ・児童館事業についても広く町民に活動紹介するとともに、地域の保育所や幼稚園との連携、PRに一層の努力が必要である。

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 25. 人権フォーラム、同和教育推進大会、部落問題懇談会

担当課 生涯学習・人権推進課

事業のねらい	部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくすため様々な人権課題について住民啓発を行い、人権尊重のまちづくりをめざす。
事業の概要	「差別の現実から深く学ぶ」ことを基本理念とした同和教育の成果や視点を継承し、同和教育をはじめとする様々な人権問題の解決のための取り組みとして、人権フォーラム、同和教育推進大会、部落問題懇談会の開催により、あらゆる差別解消への道筋を明らかにする。
取組状況	<p>◆人権フォーラム</p> <p>日時 平成22年6月27日(日) 13:30～15:55</p> <p>会場 ハワイアロハホール</p> <p>内容 ○ミニライブ</p> <p>出演 ハワイ笑歌村塾 塾長 石川達之さん</p> <p>○講演「新ちゃんのお笑い人権高座」</p> <p>～笑顔でくらす、願いに生きる～</p> <p>講師 落語家 露の新治さん</p> <p>参加者 378名</p> <p>アンケート結果 ミニライブ：満足度98%</p> <p>講演会：満足度99%</p> <p>◆同和教育推進大会</p> <p>日時 平成22年10月24日(日) 13:00～16:30</p> <p>会場 ハワイアロハホール</p> <p>内容 ○大会テーマ表彰(最優秀作品1点、優秀作品5点)</p> <p>最優秀作品「みつけよう 自分の中の 差別の心」</p> <p>○基調提案</p> <p>○講演「若者の立場から見える部落差別」</p> <p>講師 部落解放同盟福岡市協議会事務局員 内屋 綾さん</p> <p>○分科会</p> <p>共通テーマ「人権侵害ってなんだろう～身近に起きている人権侵害への気づき～」</p> <p>・第1分科会</p> <p>テーマ「障がい支援ってなに?～自閉症の息子の暮らしから～」</p> <p>講話 講師 (株)おめめどう代表取締役 奥平綾子さん</p>

	<p>・第2分科会 テーマ「どうしますか？あなたなら～耳が聞こえないってどんなこと～」 助言者 倉吉市人権絵本作成委員 下吉素子さん 第1部 寸劇「くわがたとりのひみつの木」 第2部 グループに分かれての話し合い</p> <p>・第3分科会 テーマ「一人ひとりの人権が大切にされる地域をめざして」 講師 県教委人権教育課 指導主事 岡本律子さん 第1部 講話「同和教育の果たしてきた役割と人権教育のめざすもの」 第2部 グループに分かれての話し合い</p> <p>参加者 358名 アンケート結果 講演会：満足度 99% 分科会：満足度100%</p> <p>◆部落問題懇談会 障がい者問題を中心に年6回開催 参加者 延610名 アンケート結果 6回平均：満足度85%</p>		
予 算 額	443,000 円	決 算 額	435,108 円
	内訳 人権フォーラム 188,000 円 同和教育推進大会 159,000 円 部落問題懇談会 96,000 円		内訳 人権フォーラム 187,181 円 同和教育推進大会 155,625 円 部落問題懇談会 92,302 円
自 己 評 価	成 果	<p>人権フォーラム、同和教育推進大会では、県外講師を招いての講演会を中心に取り組み、特に同和教育推進大会では、3年振りに分科会を開催し、3分科会とも内容が充実したものであった。</p> <p>部落問題懇談会では、障がい者問題を中心に取り組み、特に当事者(自閉症当事者とその保護者、性同一性障がい当事者)から直接メッセージが聞けたことは今後の取組みにおいても大変有意義なものであった。</p>	
	課 題	<p>依然として県内各地で差別発言や差別落書き等が報告されるとともに、インターネットを悪用しての差別書き込みは全国的に問題となっている。町内においても町民による部落差別・障がい者差別発言の事象が発生し、現存している偏見や差別意識の問題が残されている。</p> <p>今後もあらゆる人権問題の解決を図ることが必要であり、一人ひとりの人権が尊重される町の実現を目指し、人権・同和教育を推進する。</p>	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 26. 部落座談会の取り組み（地区座談会）

担当課 生涯学習・人権推進課

事業のねらい	部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくするため、集落単位で部落座談会を開催し、町民の人権意識の向上を図ることを目的とする。		
事業の概要	町同推協地域部会を中心に、実施にあたっては東郷地域同推協、羽合地区同推協、泊地区同推協単位で取り組む。 実施時期は10月から翌年2月を中心に、全集落での座談会開催を目指し、日常生活の中から人権問題について町民相互に意見交換等を行う。		
取組状況	町全体 66会場 参加者1,442名 ◆東郷地域 11月9日～12月4日 35会場 参加者610名 内容 全集落共通テーマ「暮らしの中にある差別について」 VTR視聴「人権入門～日常から考える10のヒント～」 グループ別話し合い ◆羽合地区 7月17日～1月22日 20会場 参加者489名 内容 集落単位でテーマを設定し実施 ◆泊地区 11月7日～3月20日 11会場 参加者343名 内容 集落単位でテーマを設定し実施		
予算額	771,100円 内訳 東郷：376,000円 羽合：284,000円 泊：111,100円	決算額	574,000円 内訳 東郷：284,000円 羽合：209,000円 泊：81,000円
自己評価	成果	前年度と比較し参加者が100名増となった。（H21：1,342人⇒H22：1,422人） 実施にあたっては、単に講演、VTR視聴のみでなく、参加者による話し合いを多くの集落で取り組まれており、身近にある人権問題について住民相互の意見交換を行うことができた。	
	課題	未開催集落が4集落（羽合地区1集落、泊地区3集落）あり、全集落での開催が望まれる。また、参加者数については前年度と比較すると増加したが、過去からの推移を見ると減少傾向であり、参加者増に向けての取組みも必要である。特に行政職員や教職員の参加が少ない等の意見もあり積極的な参加が望まれる。さらに、集落の推進役である同和教育部落推進員の養成等も必要である。 また、部落座談会は本来、共に支え合い、住みよい地域づくりを目指す	

		すためのものであるという意識を住民のみなさんに持っていただく取組みが必要である。
--	--	--

教育委員会議及び教育委員の活動

湯梨浜町教育委員会委員（平成22年度在籍）

職名	氏名 H21. 12. 25 現在	氏名 H22. 12. 25 現在	保護者
委員長	前田 三郎	前田 三郎	
同職務代理者	寺地 政明	熊坂かつ枝	
委員	熊坂かつ枝	櫻井 俊子	○
委員	櫻井 俊子	中川 裕章	
教育長	土海 孝治	土海 孝治	

○委員の異動

平成22年12月24日に任期満了で退任された寺地政明委員の後任として、同年12月25日に中川裕章氏が新たに委員に任命されました。

教育委員会議・教育委員の活動実績等について

平成22年度につきましては、教育委員会議は毎月の定例会の中で教育委員会規則等の一部改正、要保護・準要保護児童生徒の認定、社会教育委員などの委嘱のほか6月、12月、3月に臨時会を開催し、問題事象等発生時に速やかな情報共有を行い問題解決にもあたりました。また、4月には町長と中学校統廃合に係る意見交換会を実施し、再度中学校統廃合検討委員会を立ち上げて改めて将来の中学校像を検討することとしました。

《1》 教育委員会議の平成22年度開催実績

教育委員会議は、毎月1回定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会を開催しております。平成22年度においては、下記のとおり会議を開催し、審議を行いました。

教育委員会の開催状況（平成22年4月～平成23年3月）

年月日	会議名	議案 番号	議案件名等
22. 4. 27	第5回定例会	20	専決処分の承認を求めることについて（平成21年度湯梨浜町一般会計補正予算（第10号））
		21	専決処分の承認を求めることについて（学校、園医の委嘱）
		22	専決処分の承認を求めることについて（学校、幼稚園評議員の委嘱）
		23	専決処分の承認を求めることについて（社会教育委員の委嘱）

		24	湯梨浜町立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について
		25	湯梨浜町立学校給食センター管理運営規則の一部を改正する規則について
		26	湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
		27	湯梨浜町立図書館管理運営規則の一部を改正する規則について
		28	米飯給食回数の増加策及び米粉パンの積極導入について（諮問）
		29	湯梨浜町育英奨学資金のあり方について（諮問）
			教育長の報告 5 件、協議事項 5 件、報告連絡事項 8 件、その他
22. 5. 24	第 6 回定例会	30	専決処分承認を求めることについて（教育委員会職員の任命）
		31	湯梨浜町育英奨学資金貸与条例の一部を改正する条例について
		32	湯梨浜町育英奨学資金貸与条例の施行に関する規則の一部を改正する規則について
		33	平成 21 年度教育行政の点検及び評価に係る報告書について
			教育長の報告 1 件、協議事項 2 件、報告連絡事項 3 件、その他
22. 6. 11	第 7 回臨時会	34	教育委員会の職員の処分等について
			その他
22. 6. 18	第 8 回定例会	35	専決処分承認を求めることについて（平成 22 年度湯梨浜町一般会計補正予算（第 1 号））
		36	平成 22 年度就学援助費認定の取消しについて
			教育長の報告 2 件、協議事項 1 件、報告連絡事項 2 件、その他
22. 7. 22	第 9 回定例会	37	専決処分承認を求めることについて（湯梨浜町全国大会等派遣補助金交付要綱の一部を改正する訓令）
		38	専決処分承認を求めることについて（湯梨浜町全国大会等派遣補助金交付要綱第 2 条の取扱いについて（内規）の一部を改正する内訓）
		39	専決処分承認を求めることについて（教育委員会職員の任命）
		40	湯梨浜町立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則について
		41	教育財産の用途廃止について
		42	外国語指導助手の任命について
		43	平成 22 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
			教育長の報告 3 件、報告連絡事項 3 件、その他
22. 8. 23	第 10 回定例会	44	湯梨浜町の休日を定める条例等の一部を改正する条例について
		45	施設利用減免取扱基準の一部を改正する内訓について
		46	湯梨浜町公民館運営審議会委員の委嘱について
		47	平成 23 年度から使用する小学校教科用図書の採択について
		48	平成 22 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について

		49	湯梨浜町立青少年の家の整備の方向性について(諮問)
			教育長の報告2件、報告連絡事項4件、その他
22.9.22	第11回定例会	50	専決処分の承認を求めることについて(平成22年度湯梨浜町一般会計補正予算(第3号))
		51	専決処分の承認を求めることについて(公民館運営審議会委員の委嘱)
		52	湯梨浜町立図書館管理運営規則等の一部を改正する規則について
		53	湯梨浜町文化財保護委員及び湯梨浜町歴史民俗資料館運営委員の任命について
		54	湯梨浜町公民館体制のあり方について(諮問)
			教育長の報告3件、協議事項1件、報告連絡事項3件、その他
22.10.26	第12回定例会	55	湯梨浜町社会教育委員会議運営規則の制定について
		56	湯梨浜町立学校職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令について
		57	湯梨浜町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費交付要綱の一部を改正する訓令について
		58	羽合図書室利用内規の制定について
		59	平成22年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
		60	平成22年度要保護及び準要保護児童生徒の認定の取消しについて
			教育長の報告2件、協議事項2件、報告連絡事項3件、その他
22.11.17	第13回定例会	61	羽合図書室職員の勤務時間等の特例に関する内規の制定について
			協議事項1件、報告連絡事項4件、その他
22.12.22	第14回定例会	62	専決処分の承認を求めることについて(平成22年度湯梨浜町一般会計補正予算(第4号))
		63	専決処分の承認を求めることについて(平成22年度湯梨浜町一般会計補正予算(第5号))
		64	湯梨浜町立青少年の家の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
		65	平成22年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
		66	平成22年度要保護及び準要保護児童生徒の認定の取消しについて
			教育長の報告2件、報告連絡事項3件、その他
22.12.25	第15回臨時会	67	湯梨浜町教育委員会委員長職務代理者の指定について
			その他
23.1.18	第1回定例会	1	専決処分の承認を求めることについて(平成23年度全国学力・学習状況調査について)
		2	平成22年度要保護及び準要保護児童生徒の認定の取消しについて
			教育長の報告1件、協議事項1件、報告連絡事項4件、その他
23.2.24	第2回定例会	3	専決処分の承認を求めることについて(平成22年度湯梨浜町一般会計補

			正予算(第6号))
		4	専決処分の承認を求めることについて(湯梨浜町住民生活に光をそそぐ基金条例の制定)
		5	専決処分の承認を求めることについて(湯梨浜町公民館運営審議会委員の解職)
		6	平成22年度湯梨浜町一般会計補正予算(第7号)及び(第8号)について
		7	平成23年度湯梨浜町一般会計補正予算(当初)について
		8	湯梨浜町育英奨学資金貸与条例等の一部を改正する条例について
		9	湯梨浜町招致外国青年就業規則等の一部を改正する規則について
		10	湯梨浜町立小学校及び中学校の区域外就学に関する認定要綱等の一部を改正する訓令について
		11	平成23年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
			教育長の報告4件、協議事項1件、報告連絡事項5件、その他
23.3.14	第3回臨時会	12	平成23年年度県費負担教職員の人事内申について
		13	平成23年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
		14	平成22年度要保護及び準要保護児童生徒の認定の取消しについて
			その他
23.3.25	第4回定例会	15	専決処分の承認を求めることについて(湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例)
		16	湯梨浜町立図書館管理運営規則等の一部を改正する規則について
		17	湯梨浜町教育委員会事務局組織等に関する規則の一部を改正する規則について
		18	教育委員会及びその他の教育機関の職員の任命等について
		19	湯梨浜町人権教育推進員の任命について
		20	湯梨浜町同和教育研究推進員の委嘱について
		21	湯梨浜町地区公民館長及び主事の職を解くことについて
		22	湯梨浜町地区公民館長及び主事の任命について
		23	湯梨浜町体育指導委員の任命について
		24	平成22年度要保護及び準要保護児童生徒の認定の取消しについて
		25	平成23年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
			教育長の報告8件、報告連絡事項5件、その他

※定例会、臨時会を含めて15回、73議案を審議決定した。

《2》 教育委員の活動実績

教育委員の活動としては、町内幼・小・中学校への計画訪問(学校訪問)や先進地視察、各種社会教育事業への参加、県内並びに中部地区各教育委

員会で合同の研修会も行っております。平成22年度の活動実績につきましては下記のとおりです。

《教育委員の活動状況（平成22年4月～平成23年3月）》

計画訪問（学校訪問）

年月日	学校名	協議内容等
22.6.3	松崎幼稚園	1 保育参観 2 説明・協議 (1) 園児の実態について (2) 家庭教育の方針について (3) 幼稚園の経営方針
	羽合小学校A	1 授業参観（4・5校時） 2 校長説明・委員質疑 3 意見交換会 「学校教育目標の具現化をめざして」 ①教育目標の確認と本年度の取組 ②めざす姿に照らした、本校児童のよさと課題 ③課題を解決するための方策、手立て、取組み ④各分散会発表・全体での意見交換
22.6.11	羽合幼稚園	1 保育参観 2 説明・協議 (1) 園児の実態について (2) 特別に支援を要する園児について (3) 幼稚園教育目標・めざす園児像について (4) 研究テーマについて
	東郷小学校B	1 授業参観（3・4限） 2 説明・協議 (1) 教育目標と学校経営の概要について (2) 現状について ・子どもたちの様子 ・職員の様子
21.6.25	東郷中学校B	1 授業参観（3・4限） 2 説明・協議 (1) 教育目標と学校経営の概要について（パワーポイントによる説明） (2) 職員・生徒の現状について (3) 研究推進・進路結果について
	泊小学校A	1 授業参観（5限） 2 説明・協議 (1) 教育目標と学校経営の概要について (2) 児童の現状について 3 意見交換会 「泊小学校の良いところと当面の課題」 ①分散会 ②全体会での意見交換
21.7.1	北浜中学校A	1 授業参観（5限） 2 説明・協議 (1) 教育目標と学校経営の概要について (2) 生徒の現状について 3 意見交換会 「生徒の現状に関する教職員の思い」 ①全体会による意見交換

21.11.2	松崎幼稚園	1 保育参観 2 説明・協議 (1) 学校評価中間報告
21.11.9	羽合幼稚園	1 保育参観 2 説明・協議 (1) 幼稚園経営の経過と現状について (2) 研究テーマ・人権教育・特別支援教育の経過について
	北溟中学校B	1 授業参観(3・4限) 2 説明・協議 (1) 学校生活について (2) 生徒指導上の問題・不登校について (3) 学習・部活動等について (4) 教職員の様子について (5) 学校評価について
21.11.18	羽合小学校B	1 授業参観(1・2限) 2 説明・協議 (1) 学校評価中間報告について
	東郷小学校A	1 授業参観(4・5限) 2 説明・協議 (1) 学校の現状について (2) 重点目標の取組状況・成果と課題について (3) 中間評価について 3 意見交換会・・・3分散会に分かれて協議後全体で意見交換 ①児童理解と子に応じた的確な指導・支援 ②人間関係づくり、学級づくり、社会性の育成 ③基礎・基本の定着と学力向上
21.11.25	泊小学校B	1 授業参観(4限) 2 説明・協議 (1) 学校評価中間報告について
	東郷中学校A	1 授業参観(5限) 2 説明・協議 (1) 学校評価中間報告について 3 意見交換会・・・2分散会に分かれて協議後全体で意見交換 (2) 学校評価中間評価結果による実践の検証

その他の教育委員活動

年月日	場所等	研修内容等
22.4.4	役場講堂	転入教職員着任式
22.4.5	各幼稚園	入園式
22.4.7	各小中学校	入学式
22.6.12	潮風の丘とまり	第22回グラウンド・ゴルフ発祥地大会開会式(委員長が実行委員)
22.7.10	北溟中学校	第56回東伯郡民体育大会湯梨浜町選手団結団式
22.6.27	ハワイアロハホール	人権フォーラム(町民の集い)
22.7.25	湯梨浜町ほか郡内	第56回東伯郡民体育大会開会式、各競技会場激励廻り
22.8.5～6	米子市・大山町	第35回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会
22.9.4～5	あやめ池スポーツセンター	第32回全国ベテラン卓球ゆりはま東郷大会

22.10.24	ハイアロホール	湯梨浜町同和教育推進大会
23.1.3	ハイアロホール	湯梨浜町成人式
23.3.8	各中学校	卒業式
23.3.18	各小学校	卒業式
23.3.24	役場	第22回グラウンド・ゴルフ発祥地大会実行委員会(委員長が実行委員)
23.3.24	各幼稚園	卒園式